

平成 25 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎  
(コード番号 6269 東証第1部)  
問 合 せ 先 総務部長 小 林 晴 枝  
(TEL. 03-5290-1200)

## ペトロbras社ブラジル Carioca 油田向け FPSO 受注内定

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、ブラジルの総合建設会社 Schahin グループ(本社サンパウロ市)と組んで、ブラジルの国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A. (以下「ペトロbras社」、本社リオデジャネイロ市)より、同社 45% 子会社の Guara B.V.社を通じて、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)1基の建造及びチャーター契約の発注内示書を受領しました。

本 FPSO は、ペトロbras社(45%)、BG グループ(30%)、Repsol Sinopec Brasil S.A. (25%) の3社コンソーシアムが保有する BM-S-9 鉱区にある Carioca (カリオカ)油田の開発に用いられます。

リオデジャネイロ市南方沖合約 300km に位置する Carioca 油田は、「プレソルト」と呼ばれる海底下約 5,000m の岩塩層の下部層に眠る巨大油田です。2008 年、2010 年、2011 年、2012 年に受注したペトロbras社 Lula (旧 Tupi)油田向け FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22、Sapinhoá (旧 Guara)油田向け FPSO Cidade de São Paulo MV23 及び Cernambi Sul 油田向け FPSO Cidade de Mangaratiba MV24、Cernambi Norte 油田向け FPSO Cidade de Itaguaí MV26 に続き、プレソルト層下油田の開発用としては 5 基目の FPSO 受注となります。

本 FPSO Cidade de Caraguatatuba MV27 は日量 10 万バレルの原油生産能力、日量 177 百万立方フィートのガス生産能力、日量 12 万バレルの水圧入能力、約 160 万バレルの原油貯蔵能力を持ち、当社米国子会社の SOFEC, Inc. 社が設計する Spread Mooring(多点係留)と呼ばれる係留方式で、水深約 2,100m の海上に係留されます。本 FPSO は 2016 年 6 月に現地に到着する予定です。

本 FPSO は完成後に当社の関連会社が保有し、ペトロbras社に対し 20 年のチャーターサービス (リース及び運転・保守点検等のオペレーション)の提供を行います。

尚、当社は今後ともブラジルにおけるオフショア油田開発プロジェクトの参画に注力し、本件の共同応札者である Schahin グループと共にブラジルにおける重工業の発展に寄与いたします。